



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	食育の推進		H27	指標の設定理由			
	数値	—			食育計画に基づき、食育を推進するための事業を充実させていく			
活動指標	指標	a	食生活改善推進員数	b	講習会の開催回数	c		d
	数値	目標	5年間で50人会員を増やす	目標	120回	目標		目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
食育の推進		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 食生活改善推進員数	人	18 人 36.0 %	28 人 92.0 %	16 人 124.0 %
b 講習会の開催回数	回		126 回 105.0 %	138 回 115.0 %
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
食育に対する啓発を行っているが、市民には十分に伝わっていない
対応（改善点等）
CATVや講演会等により、啓発を行う

## 5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

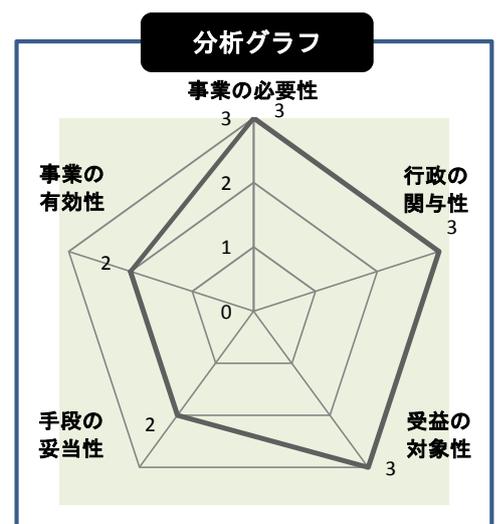
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		61	637	596	1,315
財源内訳	国費			19	27
	県費				647
	市債				
	その他				
	一般財源	61	637	577	641
うち経常		61	637	577	641
事業費に係る人件費		4,245	8,533	8,759	8,600

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
食育推進計画に沿って事業を推進する必要があるため

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の食育推進計画をH21年度に策定しており、計画に沿って今後も事業の推進が必要
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 国の食育基本法に従い、豊後大野市食育推進計画を21年度に策定
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 全市民を対象に啓発活動を進めているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 食育の範囲が広すぎて、どれが有効な手段かわからない。広く関係課との連携強化が必要であり、今後検討の余地あり
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 市民への啓発がまだ不十分で、今後関係課との連携した事業の取り組みが必要



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	広報等手段を講じ効果を向上させるよう努めること